

子育てから介護まで「ずっと伊丹で大丈夫!」と、はなせる街づくりを目指して。

伊丹市議会議員 / 無所属 / 33歳 やまぞの有理

このチラシは、伊丹市議会議員やまぞの有理が、市政情報や活動報告などをお届けしているニュースです。街頭活動・ポスティングの配布でお届けしております!



やまぞの有理



政策、ニュース、イベント告知など
やまぞの有理の情報はSNS等で
タイムリーに発信しています!!
ぜひフォローをお願いします



【プロフィール】

1985年8月伊丹生まれ・天神川小・荒牧中学校を経て明治大学公共政策大学院修了 / 2011年伊丹市議会議員選挙において初当選(当時25歳最年少当選) 現在2期目 / マニフェスト大賞受賞(第11回・第12回と連続受賞) / パトランチーム伊丹広報担当 / 未生流(師範)・表千家 / わな狩猟免許 / 伊丹市女性消防団員 /



愛され続ける、伊丹市営バスを目指して!

鉄道空白地帯が約 8 割を占める伊丹市において、伊丹市営バスは開業から今日まで、市民生活に密着した公共交通機関として親しまれ、市の発展に欠かすことのできない都市機能としての役割を担ってきました。伊丹市では市営バスを主とした路線バスが市民の移動手段として広く利用されることで、鉄道空白地帯の公共交通を維持する努力を続けています。伊丹市の特殊性やこれからのまちづくりにおいても、市営バスは必要不可欠で、市民の大切な移動手段のひとつです。今後も市民から愛され続ける市営バスであり続けられるよう、伊丹市営バスの現状、課題、議会質問で取り上げた内容など市営バスに関する内容をご報告いたします。

データで見る伊丹市営バス

- ・1949年から事業免許を取得以来創業70周年
- ・車両保有数→93両(全てノンステップバス)
- ・年間走行キロ→約330万キロ(H29年度決算)
- ・輸送人員→約1400万人(H29年度決算)

創業70周年!



市営バスの経営状況は?

収支状況については、平成10年度に過去最大となる約9億円の累積欠損金が生じましたが、経営健全化の取り組みにより、平成23年度からは利益剰余金を計上が実現。しかし、平成26年度の地方公営企業会計制度の見直しで、退職手当引当金等の負債性引当金計上義務が義務化されたこと等により、再び累積欠損金が生じる状況となりました。今後、職員の退職員等人員費の増、バス車両整備更新、人口減社会への対応等、課題は山積しています。伊丹市営バスは開業から今日まで市民生活に密着した公共交通機関として親しまれ、市の発展に欠かすことのできない都市機能としての役割を担ってきました。鉄道空白地帯が約8割を占める伊丹市において、伊丹市では市営バスを主とした路線バスが市民の移動手段のひとつです。一般的に市が直営で行う市営バスは、長期的・安定的なバスサービス、住民の意向を反映したバスサービスの提供が可能となり、市の行政部門との連携が可能であるという意義があると、やまぞのは考えます。今後も市営バスが伊丹市の個性として、また、今後も市民の信頼と期待に応えこれまで通り伊丹市が直営で行う市営バス事業であるように働きかけて参ります!

伊丹市の公共交通について研究!

一部政務活動費を活用して明治大学公共政策大学院で体系的な政策研究を深めました。明治大学名誉教授の北大路伸郷教授に師事し、卒業論文にあたりサーペーパー「伊丹市公共交通の研究」とし、社会調査を進めながら伊丹市の公共交通について調査研究を行いました。



これまでも、これからも、 愛され続ける伊丹市営バスを目指して。

市営バスに関する質疑内容を
一部ご紹介します！



最終バス時間延長を目指して



【質問】

平日の JR 在来線は深夜 0 時まで運行をしていますが、最終バスの運行は JR 伊丹駅 22 時 45 分・阪急伊丹駅 22 時 50 分出発となっています。やまぞのが実施した伊丹市公共交通に関するアンケートからは、最終バスの時間延長を望む声を多数いただき、そのニーズの高さを感じました。今後のダイヤ改正での最終バス時間延長についての考えは？

一定の研究はしてるのだけど
課題解決がムズかしい...

交通局

【答弁】

最終バスの延長や深夜バスについて交通局としても一定研究を行っている。最終バスの延長となると①乗務員の労働時間②収益性が課題となる。①に関しては乗務員が一度運転してから次の業務まで 8 時間あける必要がある。②に関しては割増料金を適用しても収益性に不安が残る。今後も継続して検討・研究を行いたい。

雨の日への対応の強化！



【質問】

路線バスの運行本数や時刻・ダイヤは道路交通法上の手続きを経て決める必要があり、安易に増便減便することは禁じられています。しかし、雨天時などに乗客がバスに乗り切れないような状況の場合の増便対応は可能です。現行のダイヤに雨の日ダイヤへの取り組みを実施すべきと考えるが取り組みは？

雨の日も営業チャンスに活かしたい！

交通局

【答弁】

平成 27 年 9 月のダイヤ改正から試験的に雨の日ダイヤを実施している。内容は気象庁が発表する降水確率 60% 以上の場合乗務員と車両を運行するというもの。平成 28 年では、雨の日ダイヤとして 30 日運行し、そのうち実際に当日雨が降ったのが 12 日、雨が降らなかったのが 18 日となった。雨が降った日の売り上げデータも見ながら、雨の日臨時便をダイヤ上にのせて運行するか検討していきたい。

「バスは今どこ？」から解放を



【質問】

無線通信や GPS など利用してバスの位置情報を活用しバスの定時運航の調整等に役立てるバスロケーションシステムがある。バスの運行は道路事情や天候による影響が多く鉄道等の交通機関に比べて定時性の確保は難しいが、このシステムにより問題が緩和されることが期待される。伊丹市ではまだ導入されていない、バスロケーションシステムへの取り組み状況は？

よりよいものも導入したい！

伊丹市

【答弁】

伊丹市総合交通計画の中でおおむね 2025 年までに実施と方向性が決定している。技術革新や企業努力などにより安価で視認性・操作性の高いシステムが導入できるよう引き続き情報収集と研究を重ね導入について考えたい。

その他にも・・・

ダイヤ改正への取り組み、乗務員待遇マナー、事故ゼロへの取り組み、新規顧客獲得に向けた取り組み等、伊丹市営バスが市民から愛され続けるために、一般質問や委員会などで発言して参りました。今後もしっかりと市営バスについて取り組んで参ります！

ご意見お聞かせ下さい！



やまぞの有理の活動についてアンケート調査を実施しています！
ご協力宜しくお願いします！



発行責任者：伊丹市議会議員 やまぞの有理 ★ご意見・ご感想などあればお気軽にお問合せくださいませ

住所：〒664-8503 伊丹市千僧1-1 mail：yamazonoyuri@gmail.com FAX：072-779-7635 討議資料